

## 第64回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成20年10月～12月期

---

---

平成20年10～12月期の国内景気は短期間に激変した。世界的な金融危機により資金繰りの悪化と需要の減少が業種を問わず拡大し、企業活動が急速に萎縮した。円高と株安も進行し、輸出企業の決算では赤字修正の報道が続いている。派遣切りなど、雇用や設備の過剰感は強まり、個人消費が減退している。

トラック運送業界では、軽油価格は高値解消しつつあるものの、生産・出荷の下方修正に伴って輸送数量が大幅に減少、業界の景況感の判断指標は▲111と著しく低い水準を示した（前回▲96）。

平成21年1～3月期の見通しは、判断指標は▲129となり、さらに厳しい状況が続く見込み。

---

---

平成21年2月2日

社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成20年10月～12月期）の状況

### (1) 概況

平成20年10～12月期におけるトラック運送業界の景況感は、「悪化」とした事業者は80%（前回75%）、「好転」とした事業者は2%（前回4%）で、判断指標は前回（▲96）から15ポイント悪化の▲111となり、著しく低い水準を示した。

貨物別では、宅配貨物、宅配以外の特積み貨物、一般貨物とも、輸送数量、営業収入、営業利益が悪化した。

### (2) 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が68%、「増加」とする事業者が6%で、判断指標は▲80となり、前回（▲60）から20ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が68%、「増加」とする事業者が6%で、判断指標は▲79となり、前回（▲60）から19ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が69%、「増加」とする事業者が6%で、判断指標は▲81となり、前回（▲72）から9ポイント悪化している。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が74%、「増加」とする事業者が4%で、判断指標は▲87となり、前回（▲59）から28ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が74%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲85となり、前回（▲56）から29ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が75%、「増加」とする事業者が4%で、判断指標は▲91となり、前回（▲73）から18ポイント悪化している。

### (3) 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が65%、「増加」とする事業者が9%で、判断指標は▲75となり、前回（▲52）から23ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が67%、「増加」とする事業者が7%で、判断指標は▲78となり、前回（▲58）から20ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が71%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲91となり、前回（▲84）から7ポイント悪化している。

### (4) 運賃水準

運賃水準は、宅配貨物の判断指標は▲20（前回▲15）、一般貨物は▲22（前回▲18）で、わずかに水準を下げている。宅配以外の特積貨物は▲9（前回▲6）で、他の指標が大きく悪化する中、弱含みながらも水準を維持している。

### (5) 実働率等

実働率は▲54（前回▲40）、実車率は▲52（前回▲35）で、ともに水準を下げている。

雇用状況は▲20（前回+2）で、人手の過剰感がみられつつある。採用状況は▲25（前回▲13）で、やや減少の傾向が現れた。所定外労働時間は▲41（前回▲24）で、減少幅を拡大させた。

保有車両台数は▲17（前回▲17）でほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委

託)は▲38(前回▲25)で、減少幅を拡大させた。

#### (6)地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、中国、中部、北海道、北陸信越、九州、東北、近畿は大幅悪化、四国、関東は悪化であった。

事業者の規模別にみると、大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者の全てで大幅悪化となっている。規模が大きいほど悪化傾向は顕著である。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物が著しく水準を下げ、相対的に最も悪い。消費関連貨物、その他貨物も大幅悪化。建設関連貨物はやや水準を下げたが相対的には緩やかである。

## 2. 今後(平成21年1月~3月期)の見通し

### (1)概況

平成21年1~3月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲129で、さらに18ポイント悪化する見込み。これまで燃料サーチャージの導入等によるコスト転嫁で底打ち感のみられた運賃水準についても再び下落の恐れがある。

### (2)特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも、さらに悪化する見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量、営業収入はさらにやや水準を下げ、営業利益も悪化が続く見込み。

### (3)一般貨物

一般貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも、さらに悪化する見込み。

### (4)運賃水準

各貨物とも水準を下げ、やや下落となる見込み。

### (5)実働率等

実働率、実車率とも低下の見込み。

雇用状況は、やや人手過剰の見込み。採用状況、所定外労働時間はやや減少の見込み。

保有車両台数はやや減少に転じ、貨物の再委託(下請運送会社への委託)はやや減少の傾向を強める見込み。

### (6)地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、中国、中部を筆頭に、すべての地域で大幅悪化の見込み。

事業者の規模別では、全ての規模で大幅悪化が続く見込み。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物を筆頭に、すべての品目で大幅悪化の見込み。

### 3. 特積貨物の概況

項 目		概 況	
宅	輸送数量	前回 0 5 40 45 10 (-60) 今回 0 6 26 50 18 (-80) 見通 1 4 20 51 24 (-95)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回より悪化し、引き続き減少となっている。地域別では、北海道、四国ではやや減少に留まった。中国、中部、東北では大幅減少となった。</li> <li>・ 今後は今回より悪化して、減少が続く見込み。</li> </ul>		
配	営業収入 (売上高)	前回 0 5 41 43 11 (-60) 今回 1 5 26 50 18 (-79) 見通 1 4 18 54 23 (-94)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回より悪化し、引き続き減少となっている。地域別では、四国、北海道ではやや減少に留まった。中国、東北、中部では大幅減少となった。</li> <li>・ 今後は今回より悪化して、減少が続く見込み。</li> </ul>		
貨	営業利益	前回 1 5 34 42 18 (-72) 今回 1 5 26 51 18 (-81) 見通 2 3 19 52 24 (-94)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回よりやや悪化し、引き続き減少となっている。地域別では、四国ではやや減少に留まった。東北、中国、中部では大幅減少となった。</li> <li>・ 今後は今回より悪化して、減少が続く見込み。</li> </ul>		
物	運賃・料金の水準	前回 0 12 67 17 4 (-15) 今回 1 7 67 21 4 (-20) 見通 1 5 62 26 6 (-33)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回よりやや悪化し、やや下落となった。地域別では、東北、中部、北海道、四国では横ばいとなっている。</li> <li>・ 今後は今回より悪化して、やや下落が続く見込み。</li> </ul>		

#### 【調査の概要】

- ◆平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。  
今回は平成20年12月28日に配布。  
平成21年1月27日到着分までを集計。
- ◆回収率：67.2%

	特 積	一 般	合 計
調査対象	262	638	900
回収数	132	473	605

項 目		概 況	
宅配	輸送数量	前回 0	5 40 45 10 (-59)
		今回 0	4 22 58 16 (-87)
以外	営業収入 (売上高)	前回 0	6 41 44 9 (-56)
		今回 1	4 22 57 17 (-85)
特積	営業利益	前回 1	4 33 46 16 (-73)
		今回 1	3 21 55 20 (-91)
貨物	運賃・料金の水準	前回 0	13 70 14 2 (-6)
		今回 1	12 66 19 2 (-9)
		見通 2	2 16 58 22 (-96)
		見通 2	2 17 60 20 (-94)
		見通 2	2 19 55 22 (-94)
		見通 1	8 64 25 3 (-21)

・前回より悪化し、減少となった。地域別では、近畿はやや減少に留まった。中国、東北、北陸信越では大幅減少となった。規模別では、小規模事業者は大幅減少となった。  
・今後は今回よりやや悪化して、減少が続く見込み。

・前回より悪化し、減少となった。地域別では、関東はやや減少に留まった。中国、東北、北陸信越では大幅減少となった。規模別では、小規模事業者は大幅減少となった。  
・今後は今回よりやや悪化して、減少が続く見込み。

・前回より悪化し、引き続き減少となっている。地域別では、中国、東北、北陸信越、中部は大幅減少となっている。規模別では、小規模事業者は大幅減少となった。  
・今後も今回と同様に、減少が続く見込み。

・前回と同様に、横ばいが続く。地域別では、東北、九州、四国はやや下落となっている。  
・今後は今回より悪化して、やや下落となる見込み。

凡例

	大幅に 増加・上昇・好転・人手不足	+2点
	やや 増加・上昇・好転・人手不足	+1点
	横ばい	0点
	やや 減少・低下・悪化・人手過剰	-1点
	大幅に 減少・低下・悪化・人手過	-2点

(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a<sub>1</sub>+a<sub>2</sub>+a<sub>3</sub>+a<sub>4</sub>+a<sub>5</sub> (設問Aの選択肢1~5の回答数の和)

指標 = { (+2×a<sub>1</sub>) + (+1×a<sub>2</sub>) + (0×a<sub>3</sub>) + (-1×a<sub>4</sub>) + (-2×a<sub>5</sub>) } ÷ A × 100

#### 4. 一般貨物の概況

項目	概況
<b>輸送数量 (全体)</b>	<p>           前回 0 11 36 44 10 (-52)            今回 1 8 27 47 18 (-75)            見通 1 4 23 47 25 (-92)         </p> <p>           ・前回より悪化し、減少となった。地域別では四国、九州、北海道ではやや減少となっている。中国では大幅減少となった。            ・今後は今回より悪化して、減少が続く見込み。         </p>
<b>営業収入 (売上高)</b>	<p>           前回 1 9 34 45 12 (-58)            今回 0 7 26 47 20 (-78)            見通 1 4 21 47 27 (-96)         </p> <p>           ・前回より悪化し、減少となった。地域別では四国でやや減少となっている。中部では大幅減少となった。            ・今後は今回より悪化して、減少が続く見込み。         </p>
<b>営業利益</b>	<p>           前回 1 6 26 45 23 (-84)            今回 0 5 23 46 25 (-91)            見通 1 3 20 48 28 (-101)         </p> <p>           ・前回よりやや悪化し、引き続き減少となっている。地域別では中部、規模別では大規模事業者、品目別では機械関連貨物、その他貨物で大幅減少となっている。            ・今後は今回より悪化して、大幅減少となる見込み。         </p>
<b>運賃・料金の水準</b>	<p>           前回 0 10 69 16 6 (-18)            今回 0 9 65 21 5 (-22)            見通 0 5 60 26 9 (-39)         </p> <p>           ・前回よりわずかに悪化し、やや下落となった。地域別では中部、関東、北海道、規模別では大規模事業者、品目別では建設関連貨物では、横ばいに留まった。            ・今後は今回より悪化し、やや下落が続く見込み。         </p>

## 5. 共通の概況

項目	概況
実働率	<p>・前回より悪化し、やや低下が続いている。地域別では中部、中国、規模別では小規模事業者、品目別ではその他貨物、機械関連貨物では、それぞれ低下となっている。 ・今後は今回より悪化して、低下となる見込み。</p>
実車率	<p>・前回より悪化し、やや低下が続いている。地域別では中部、中国、品目別では機械関連貨物、その他貨物では、それぞれ低下となっている。 ・今後は今回より悪化して、低下となる見込み。</p>
雇用状況 (人手の過不足)	<p>・前回より悪化し、やや過剰感がみられる。地域別では四国、九州、関東、北海道、規模別では大規模事業者、品目別では消費関連貨物で過不足のない状態となっている。 ・今後は今回より悪化して、やや過剰が続く見込み。</p>
採用状況	<p>・前回より悪化し、やや減少となった。地域別では関東、規模別では小規模事業者、品目別では消費関連貨物では、それぞれ横ばいとなっている。 ・今後は今回より悪化して、やや減少が続く見込み。</p>
所定外労働時間	<p>・前回より悪化し、やや減少が続く。地域別では北海道は横ばい、中国、中部では減少となった。品目別では機械関連貨物で減少となった。 ・今後は今回より悪化して、やや減少が続く見込み。</p>

項 目	概 況
保有車両台数	<p>前回 0 5   75   19   1 (-17)</p> <p>今回 0 4   77   18   2 (-17)</p> <p>見通 0 3   73   21   3 (-25)</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>
	<p>・前回と同様に横ばいとなっている。地域別では北海道、北陸信越、四国、中部、規模別では中規模事業者、品目別では機械関連貨物、その他貨物でやや減少となっている。</p> <p>・今後は今回よりやや悪化して、やや減少となる見込み。</p>
貨物の再委託	<p>前回 0 6   67   22   5 (-25)</p> <p>今回 1 1   55   28   9 (-38)</p> <p>見通 0 5   49   31   15 (-55)</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>
	<p>・前回より悪化し、やや減少が続く。地域別では、中部は減少だが、北越信越では横ばいとなっている。</p> <p>・今後は今回より悪化して、やや減少が続く見込み。</p>
経常損益	<p>前回 1 5   30   45   20 (-80)</p> <p>今回 0 4   27   47   22 (-86)</p> <p>見通 0 3   21   48   27 (-100)</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>
	<p>・前回よりやや悪化し、引き続き悪化となっている。地域別では中部、中国、品目別では機械関連貨物、その他貨物で大幅悪化となっている。</p> <p>・今後は今回よりさらに水準を下げ、大幅悪化となる見込み。</p>
業界の景況感	<p>前回 1 3   21   49   26 (-96)</p> <p>今回 0 2   18   48   32 (-111)</p> <p>見通 1 1   10   44   44 (-129)</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>
	<p>・前回よりさらに水準を下げ、大幅悪化となった。地域別では、中国、中部の水準が特に低い。四国、関東は悪化に留まる。品目別では建設関連貨物のみ悪化に留まる。</p> <p>・今後は今回よりさらに水準を下げ、大幅悪化が続く見込み。</p>

## 6. 事業者特性別の特徴

事業者特性	特 徴																																								
<p>① 地域（注4）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道は、全国順位 5 位から 7 位に下がり、景況感は悪化。</li> <li>・東北は、全国順位 7 位から 4 位に上がり、景況感はやや改善。</li> <li>・北陸信越は、全国順位 6 位のままだが、景況感は悪化。</li> <li>・関東は、全国順位 1 位から 2 位に下がり、景況感は悪化。</li> <li>・中部は、全国順位 4 位から 8 位に下がり、景況感は大きく悪化。</li> <li>・近畿は、全国順位 2 位から 3 位に下がり、景況感は悪化。</li> <li>・中国は、全国順位 3 位から 9 位に下がり、景況感は大きく悪化。</li> <li>・四国は、全国順位 9 位から 1 位に上がり、景況感は改善。</li> <li>・九州は、全国順位 8 位から 5 位に上がったが、景況感は前回と同水準。</li> </ul> <p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 0 年 7～9 月期</th> <th>H 2 0 年 10～12 月</th> <th>H 2 1 年 1～3 月期見通し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 位</td> <td>関 東</td> <td>四 国</td> <td>四 国</td> </tr> <tr> <td>2 位</td> <td>近 畿</td> <td>関 東</td> <td>関 東</td> </tr> <tr> <td>3 位</td> <td>中 国</td> <td>近 畿</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>4 位</td> <td>中 部</td> <td>東 北</td> <td>近 畿</td> </tr> <tr> <td>5 位</td> <td>北海道</td> <td>九 州</td> <td>九 州</td> </tr> <tr> <td>6 位</td> <td>北陸信越</td> <td>北陸信越</td> <td>北海道</td> </tr> <tr> <td>7 位</td> <td>東 北</td> <td>北海道</td> <td>北陸信越</td> </tr> <tr> <td>8 位</td> <td>九 州</td> <td>中 部</td> <td>中 部</td> </tr> <tr> <td>9 位</td> <td>四 国</td> <td>中 国</td> <td>中 国</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文字の凡例</p> <p>標準文字: やや悪化</p> <p>ゴシック: 悪化</p> <p>反転文字: 強い悪化</p> </div>		H 2 0 年 7～9 月期	H 2 0 年 10～12 月	H 2 1 年 1～3 月期見通し	1 位	関 東	四 国	四 国	2 位	近 畿	関 東	関 東	3 位	中 国	近 畿	東 北	4 位	中 部	東 北	近 畿	5 位	北海道	九 州	九 州	6 位	北陸信越	北陸信越	北海道	7 位	東 北	北海道	北陸信越	8 位	九 州	中 部	中 部	9 位	四 国	中 国	中 国
	H 2 0 年 7～9 月期	H 2 0 年 10～12 月	H 2 1 年 1～3 月期見通し																																						
1 位	関 東	四 国	四 国																																						
2 位	近 畿	関 東	関 東																																						
3 位	中 国	近 畿	東 北																																						
4 位	中 部	東 北	近 畿																																						
5 位	北海道	九 州	九 州																																						
6 位	北陸信越	北陸信越	北海道																																						
7 位	東 北	北海道	北陸信越																																						
8 位	九 州	中 部	中 部																																						
9 位	四 国	中 国	中 国																																						
<p>② 規模（注5）</p>	<p>・業界の景況感は、大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者の全てで大幅悪化となっており、規模が大きいほど悪化傾向は顕著。</p>																																								
<p>③ 品目（注6）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費関連貨物は前回から水準を下げ、大幅悪化となった。一般貨物の輸送数量では、日用品、農水産品、特種品で水準を下げた。食料工業品の悪化は相対的に緩やか。今後の景況感も大幅悪化の見込み。</li> <li>・建設関連貨物は、前回からわずかに水準を下げたものの、悪化に留まる。一般貨物の輸送数量では、林産品、金属製品などで水準を下げた。今後の景況感、水準を下げ、大幅悪化となる見込み。</li> <li>・機械関連貨物は、前回から大きく水準を下げ、大幅悪化となった。品目別で最も悪い。一般貨物の輸送数量では、輸送機械が著しく水準を下げている。今後の景況感も大幅悪化の見込み。</li> <li>・その他貨物は前回から水準を下げ、大幅悪化が続いている。一般貨物の輸送数量では、化学薬品、繊維工業品などを中心に水準を下げている。今後の景況感も引き続き大幅悪化の見込み。</li> </ul>																																								

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品(セメント等)など

機械関連貨物：電気機械(家電含む)、輸送機械(自動車等)など

その他貨物：石炭、原油、金属、石油、化学、紙・パルプなど

## 7. 景況感一覽表

		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全 体		↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↘	↓
地 域	北海道	↘	↘	↘	→	↘	↓	↘	↘	↓	→	→	↘	↘	↘	↘
	東北	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓
	北陸信越	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓
	関東	↘	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↘	↘
	中部	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↓	↘	↓	↓
	近畿	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↘	↓
	中国	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓
	四国	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↓	→	→	↘	↘	↘	↓
	九州	↘	↘	↓	↘	↓	↓	↓	↘	↓	↘	→	↘	↘	↘	↓
事業 者 規 模	小規模事業者	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓
	中規模事業者	↓	↘	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↘	↓
	大規模事業者	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓
取 り 扱 い 品 目	消費関連貨物	↘	↘	↓	↘	↓	↓	↘	↘	↓	→	→	↘	↘	↘	↓
	建設関連貨物	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓
	機械関連貨物	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↓	↘	↓	↓
	その他貨物	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↓	↓

(注7) 各項目は、関連する判断指標(前年同期に対する水準)から平均値を算出。

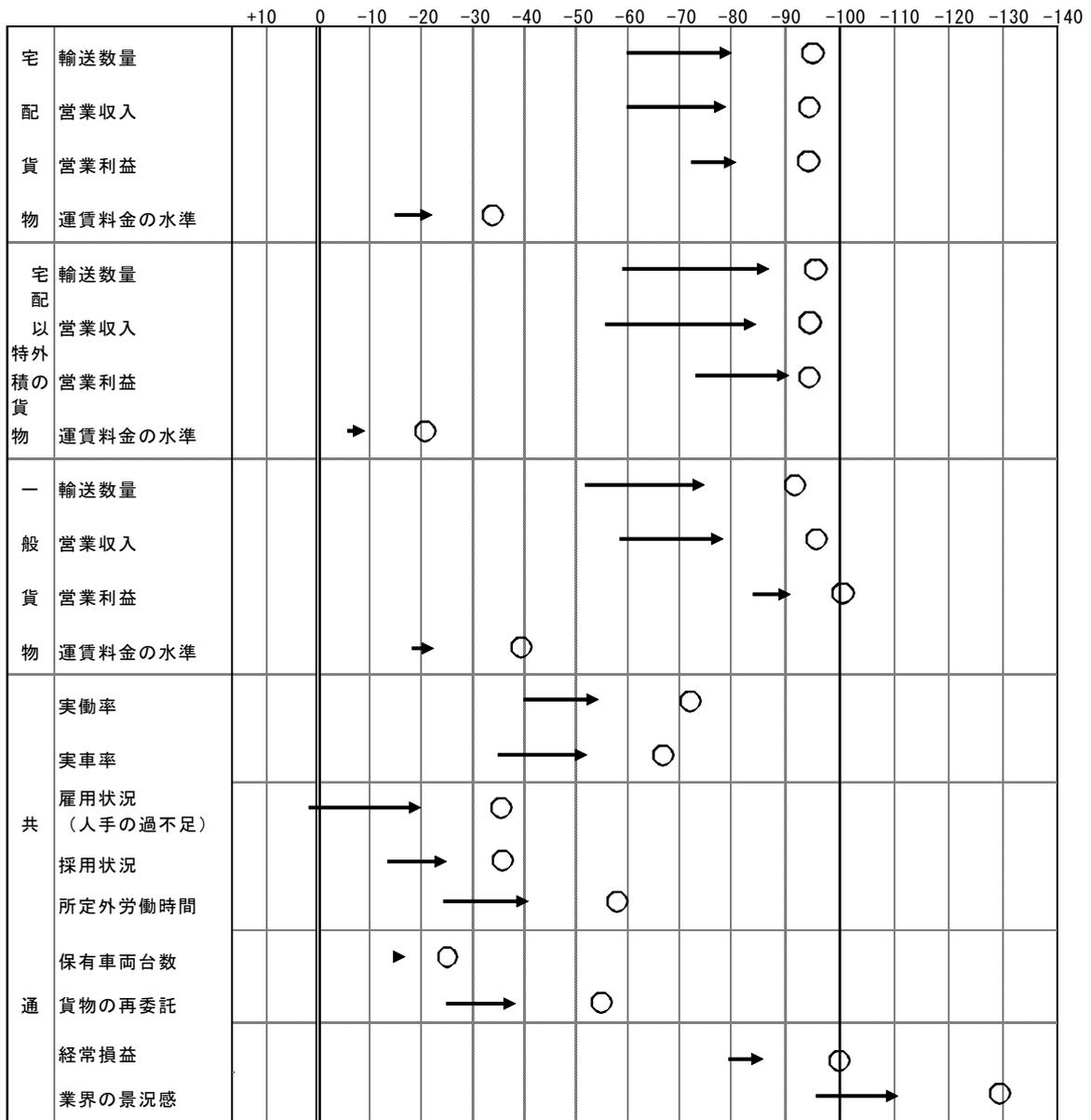
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例・各欄は、左:前回(7-9月) 中央:今回(10-12月) 右:見通し(1-3月)

・矢印と判断指標の対応

判断指標	...	-100	...	-60	...	-20	...	+20	...	+60	...	+100	...
矢 印		↓		↓		↘		→		↗		↑	

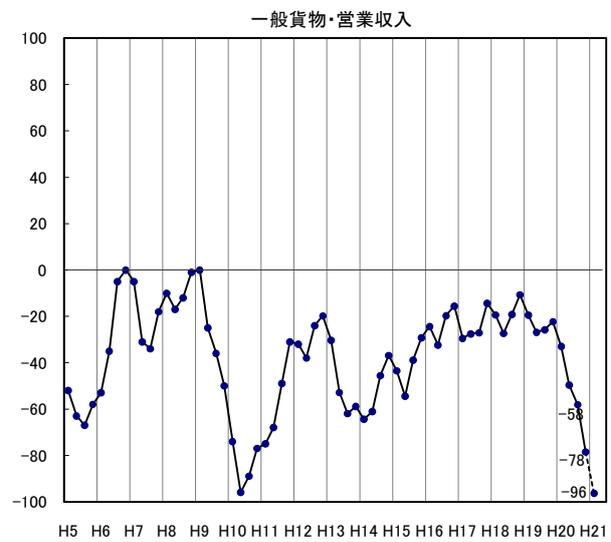
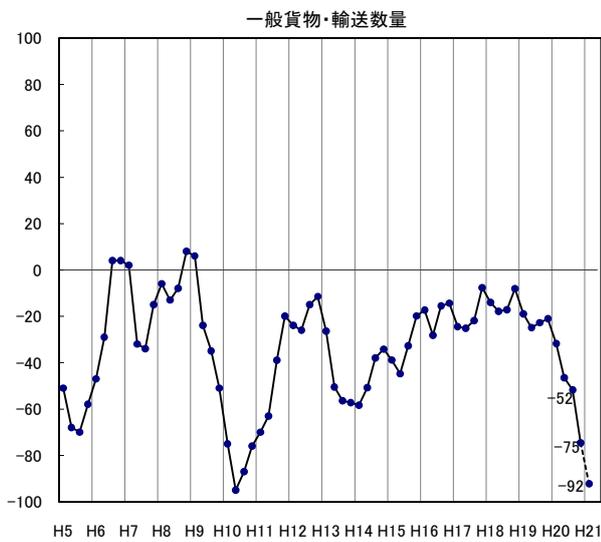
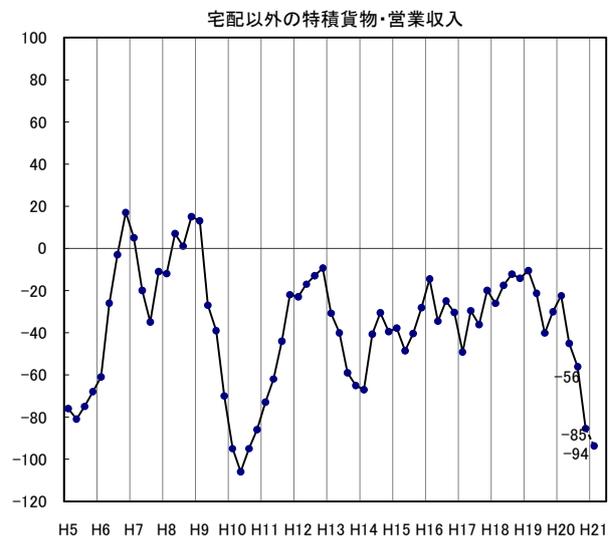
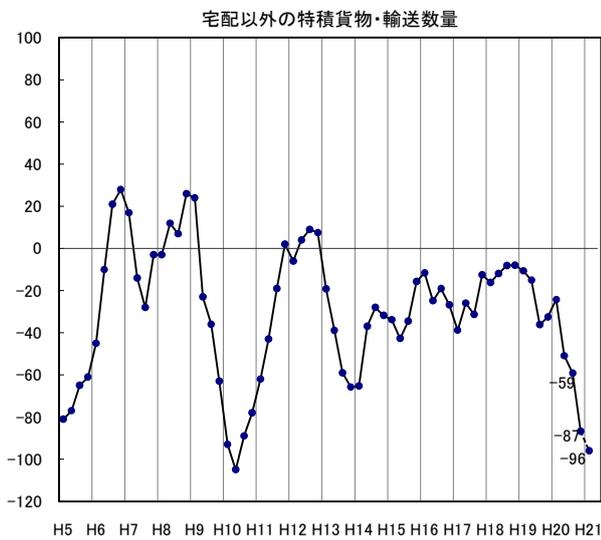
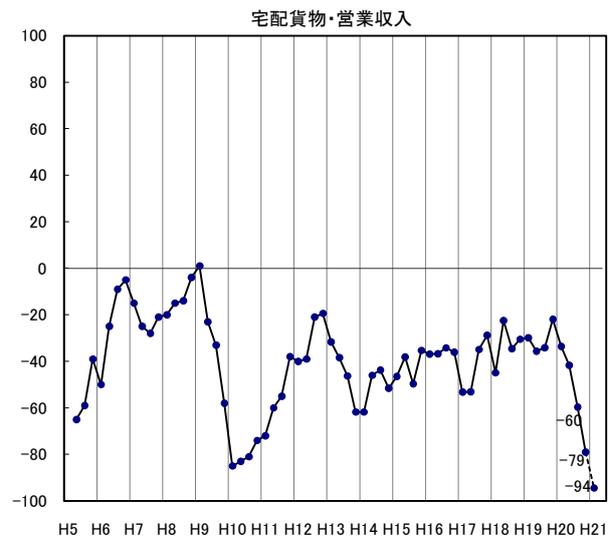
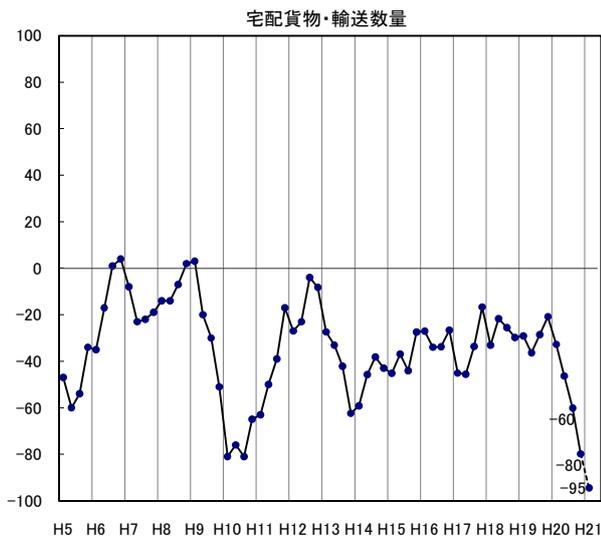
### 8. 業況判断指標の前回調査（平成20年7月～9月期）からの変化



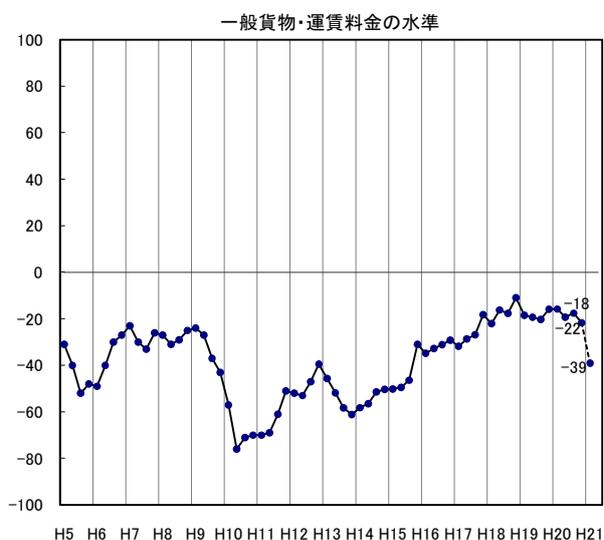
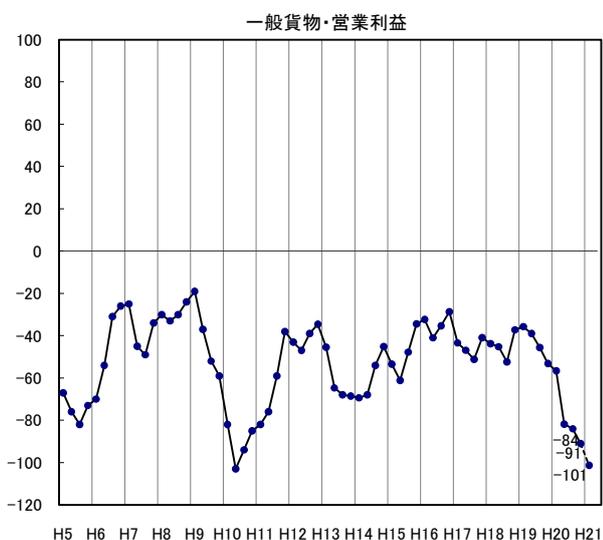
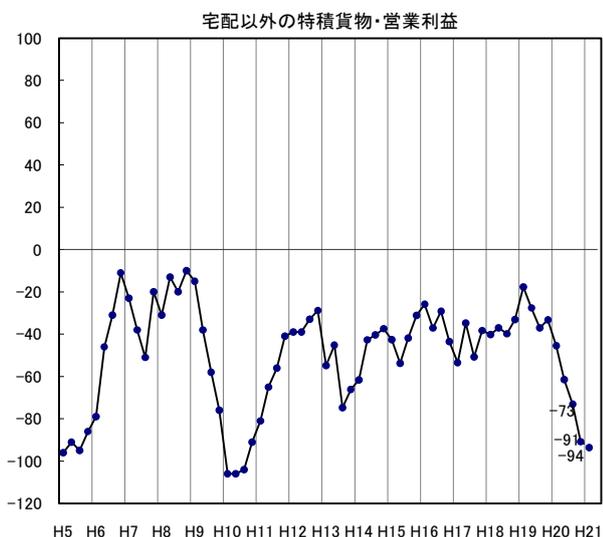
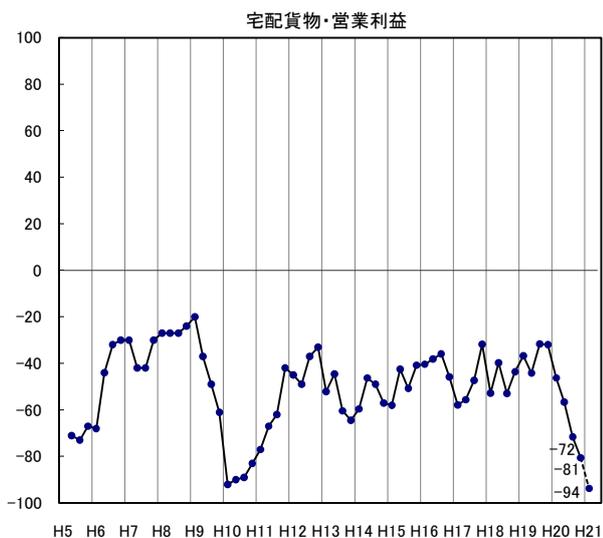
凡 例

矢元： 7-9月期の実績	矢先： 10-12月期の実績	白丸： 1-3月期の見通し
-----------------	-------------------	------------------

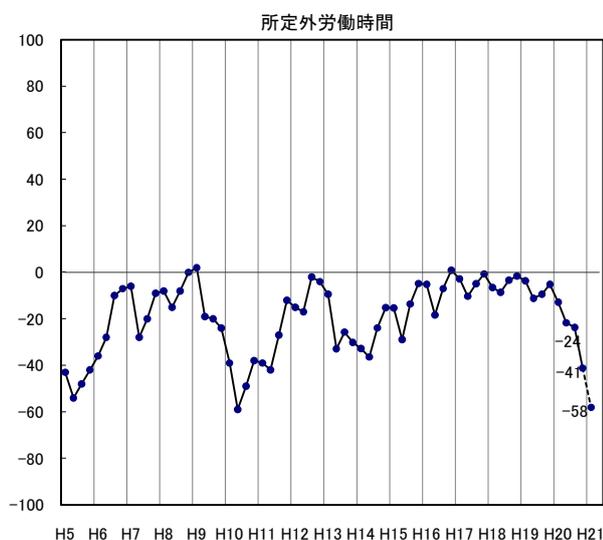
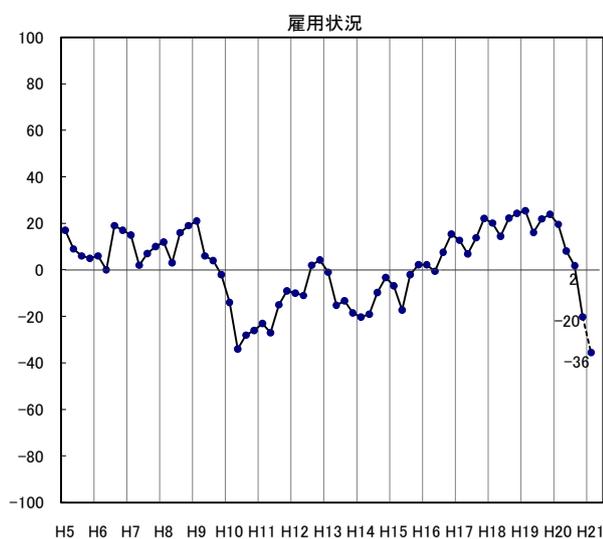
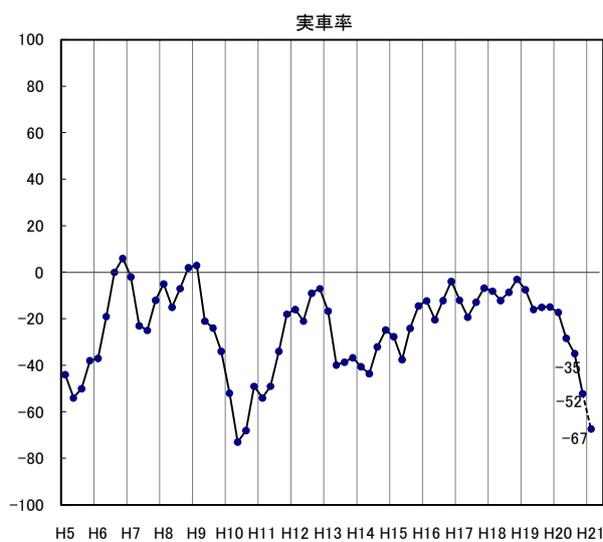
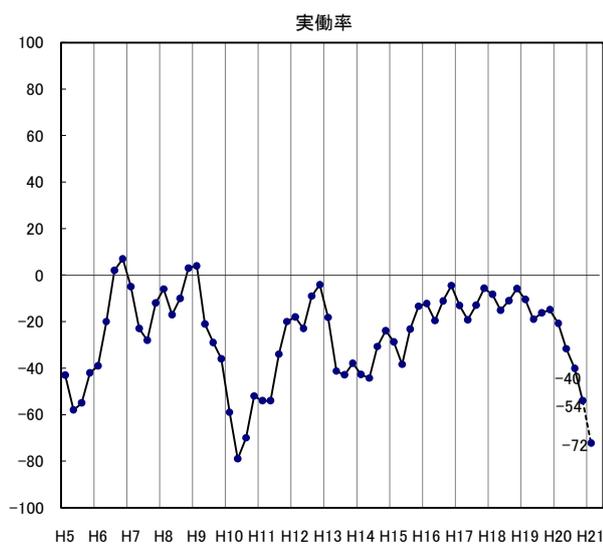
業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成20年第4四半期実績、平成21年第1四半期見通し



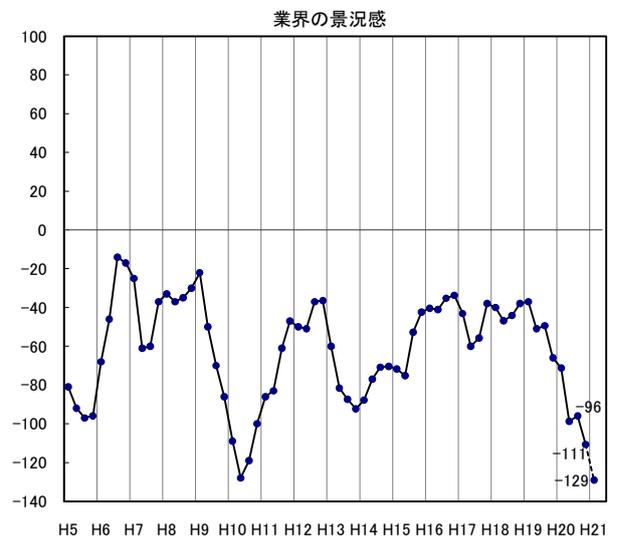
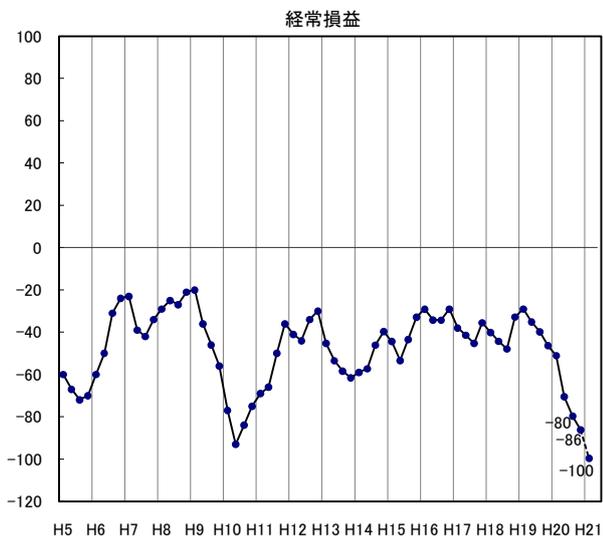
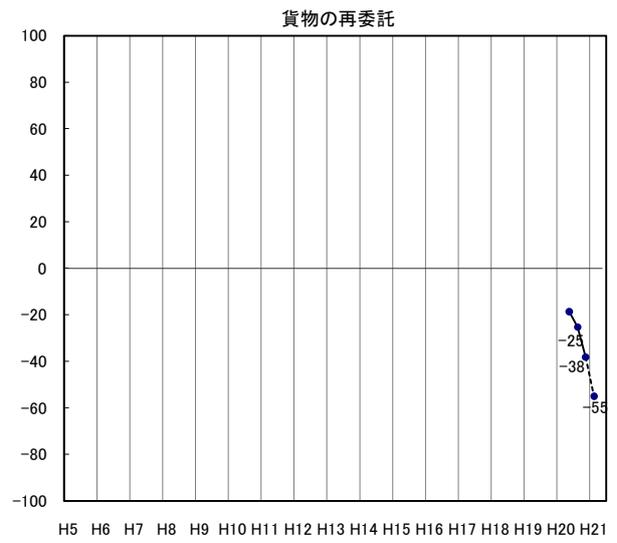
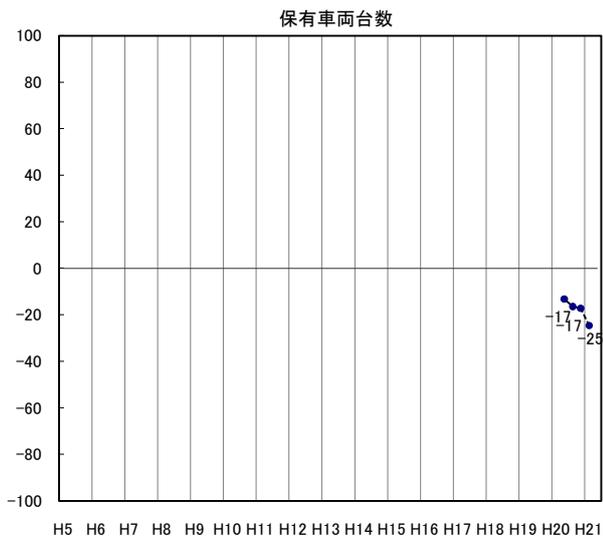
業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成20年第4四半期実績、平成21年第1四半期見通し



業況判断指標の推移  
平成5年第1四半期～平成20年4四半期実績、平成21年第1四半期見通し



業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成20年第4四半期実績、平成21年第1四半期見通し



業況判断指標の推移  
平成5年第1四半期～平成20年第4四半期実績、平成21年第1四半期見通し

